

# 国内実態調査報告書

---

テーマ : 雲仙岳噴火災害と熊本地震災害からの復興過程調査  
ゼミ名 : 鯉淵 賢ゼミ  
調査日 : 2020年12月16日(水)～12月17日(木)  
調査先 : 雲仙岳災害記念館・熊本震災遺構旧東海大学阿蘇校舎  
授業科目名 : 演習Ⅲ・Ⅳ  
参加学生数 : 4人(4年生)

## 調査の趣旨(目的)

1991年の雲仙岳火山被害と島原市・旧深江町の復興過程についての調査と2016年熊本地震の復興過程についての調査を実施する。地域経済と地域企業・金融についての研究を行うゼミ活動の一環である。

## 調査結果

雲仙岳災害記念館において、同館の学芸員の方から雲仙岳噴火被害(1990年～1995年)の特徴や直接的被害の状況等について詳細な説明を受けた。さらに、火砕流・土石流被害による最大の影響を受けた水無川下流地帯の嵩上げ事業や住民移転の状況について説明を受けた。旧東海大学阿蘇校舎においては、熊本地震(2016年)によって校舎直下に出現した断層と建物被害の状況について、また地震被害により同校舎の学生が村外へ移転したことによる地域経済への影響について説明を受けた。両調査を通じて、災害からの復興過程についての知見を得た。